

今回のPBL演習を通して(安江個人の感想)

得られた点(利点)

- ✓ 教育機関では無償で使用できるSPSSモデラーを用いて、144通りの独立変数の組み合わせによるモデル推定(評価)を実施した結果、ブラシ処理以外での心拍数上昇を説明できる行動指標として「**排泄回数**」と「**耳を後方に向ける頻度**」が有力と抽出された。
- ✓ 従前の結果からの新たな発見はなかったが、そこに至る**膨大な解析作業を軽減できることが体感**できた。その結果、この課題に卒論として取り組みたいと考える学生も。

一般化に向けた課題

- ✓ 受講生の**データに対する意識レベル**の差(統計的知識よりむしろ)
- ✓ 上記に応じた**課題の設定**
- ✓ 開講の形式と時期